



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月10日

上場会社名 北海道中央バス株式会社
コード番号 9085 URL <https://www.chuo-bus.co.jp/>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二階堂 恭仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 安田 徹

TEL 0134-24-1111

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	27,046	5.3	1,134	269.8	1,423	159.6	1,074	672.4
2025年3月期第3四半期	25,684	6.2	306		548		139	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	410.79	
2025年3月期第3四半期	53.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	43,636	30,854	70.3
2025年3月期	39,514	29,600	74.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 30,670百万円 2025年3月期 29,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期				50.00	50.00
2026年3月期					
2026年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2026年3月期の配当予想については、未定としております。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	37,800	5.0	2,300	1.5	2,500	5.2	1,900	16.0
								726.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) マイラシーライフサポート (株) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	3,146,000 株	2025年3月期	3,146,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2026年3月期3Q	529,969 株	2025年3月期	529,826 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	2,616,099 株	2025年3月期3Q	2,616,359 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中、緩やかに回復しました。道内の経済においては、個人消費が堅調に推移するとともに、観光需要が増加しました。

一方では、物価上昇や人手不足の状況が続くなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は27,046百万円（対前年同期比5.3%増）、営業利益は1,134百万円（同269.8%増）、経常利益は1,423百万円（同159.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,074百万円（同672.4%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 旅客自動車運送事業

乗合運送事業は、人員不足により札幌地区を中心に路線の廃止、減便を実施しましたが、2024年12月1日に実施した札幌市内線などの運賃改定の効果があり、増収となりました。また、新千歳空港連絡バスにおいて、札幌都心と空港を結ぶ路線の増便や小樽と空港を結ぶ路線の新設により、増収に努めました。

貸切運送事業は、修学旅行の取り扱いが増え、増収となりました。

この結果、旅客自動車運送事業全体として、売上高は14,431百万円（対前年同期比7.6%増）、営業利益は740百万円（前年同期は58百万円の営業損失）となりました。

② 建設業

建設業は、道内の公共投資が底堅く推移し、民間設備投資が増加する中、受注高、完成工事高ともに増加しました。

この結果、売上高は8,859百万円（対前年同期比3.1%増）、営業利益は579百万円（同29.2%増）となりました。

③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、新規物件を受注したことなどにより、増収となりました。

この結果、売上高は2,753百万円（対前年同期比9.1%増）、外注費の増加などもあり、営業利益は130百万円（同3.8%減）となりました。

④ 不動産事業

不動産事業は、賃貸料の見直しなどにより、増収となりました。

この結果、売上高は615百万円（対前年同期比1.2%増）、修繕費の増加などもあり、営業利益は181百万円（同11.9%減）となりました。

⑤ 観光関連事業

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、外国人利用客が増加し、索道部門、飲食部門とも好調に推移しました。

ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、地元客向けの宿泊プランを新たに販売するなど、集客に努めました。

小樽天狗山スキー場は、映画のロケ地となったことによる知名度向上やメディア露出による集客効果が続いております。

砂川ハイウェイオアシス館は、イベントを開催するなど集客に努めました。

ワイン&カフェレストラン「小樽バイン」は、宴会スペースを新設し、宴会プランを新たに取り入れるなどリニューアルオープンしました。

旅行業は、町長がガイドを務める地域と連携したツアーなどを実施し、増収に努めました。

この結果、観光関連事業全体として、売上高は1,543百万円（対前年同期比10.4%増）、修繕費の増加や、本格的なスキーシーズン前ということもあり、381百万円の営業損失（前年同期は322百万円の営業損失）となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

⑥ その他の事業

物品販売業は、商品の取扱いが増加しました。自動車教習所は、普通車と中型車の入校生が好調に推移したほか、高齢者講習の受講者が増加しました。介護福祉事業は、入居者が増加しました。

この結果、その他の事業全体として、売上高は2,290百万円（対前年同期比29.6%増）、営業利益は24百万円（前年同期は12百万円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は43,636百万円で、前連結会計年度末と比べ4,122百万円(10.4%)の増加となりました。これは、有価証券が1,226百万円、車輛運搬具の純額が1,169百万円及び流動資産のその他が917百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は12,782百万円で、前連結会計年度末と比べ2,869百万円(28.9%)の増加となりました。これは、固定負債のリース債務が1,231百万円、支払手形及び買掛金が1,090百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産合計は30,854百万円で、前連結会計年度末と比べ1,253百万円(4.2%)の増加となりました。これは、利益剰余金が929百万円増加したこと等によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,331,309	8,675,785
受取手形、売掛金及び契約資産	4,388,376	5,223,317
有価証券	2,575,195	3,801,198
商品	19,744	30,518
原材料及び貯蔵品	209,378	256,077
未成工事支出金	81,572	135,753
その他	250,546	1,168,076
貸倒引当金	△4,345	△4,101
流動資産合計	17,851,777	19,286,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,428,174	21,913,847
減価償却累計額	△16,599,548	△16,768,263
建物及び構築物（純額）	4,828,626	5,145,584
車両運搬具	26,394,450	27,001,837
減価償却累計額	△23,973,362	△23,411,154
車両運搬具（純額）	2,421,087	3,590,682
土地	9,748,842	9,766,491
その他	5,397,653	5,866,599
減価償却累計額	△4,442,254	△4,523,898
その他（純額）	955,398	1,342,700
有形固定資産合計	17,953,954	19,845,458
無形固定資産	145,948	150,732
投資その他の資産		
投資有価証券	2,772,886	2,917,539
退職給付に係る資産	375,928	375,928
その他	420,401	1,067,135
貸倒引当金	△6,587	△6,597
投資その他の資産合計	3,562,629	4,354,006
固定資産合計	21,662,532	24,350,198
資産合計	39,514,310	43,636,823

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,722,742	2,813,344
リース債務	119,212	314,166
未払法人税等	552,449	282,160
賞与引当金	225,655	124,220
その他の引当金	5,817	13,732
その他	2,511,651	3,136,061
流動負債合計	5,137,528	6,683,685
固定負債		
リース債務	817,878	2,049,270
退職給付に係る負債	2,509,504	2,436,423
役員退職慰労引当金	347,975	368,979
その他	1,100,550	1,244,448
固定負債合計	4,775,908	6,099,122
負債合計	9,913,436	12,782,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	734,307	734,307
利益剰余金	27,129,336	28,059,128
自己株式	△1,220,737	△1,221,332
株主資本合計	28,742,906	29,672,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541,575	796,719
退職給付に係る調整累計額	150,545	202,134
その他の包括利益累計額合計	692,120	998,854
非支配株主持分	165,845	183,056
純資産合計	29,600,873	30,854,015
負債純資産合計	39,514,310	43,636,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	25,684,346	27,046,706
売上原価	22,865,398	23,208,803
売上総利益	2,818,948	3,837,903
販売費及び一般管理費	2,512,054	2,703,037
営業利益	306,893	1,134,866
営業外収益		
受取配当金	91,036	55,666
助成金収入	18,518	171,284
持分法による投資利益	97,624	21,059
その他	37,294	55,493
営業外収益合計	244,473	303,504
営業外費用		
支払利息	186	12,479
その他	2,943	2,506
営業外費用合計	3,129	14,986
経常利益	548,237	1,423,384
特別利益		
固定資産売却益	3,969	16,511
投資有価証券売却益	5,000	199,385
その他	280	11,913
特別利益合計	9,249	227,809
特別損失		
固定資産除売却損	179,939	58,740
その他	13,202	8,780
特別損失合計	193,141	67,520
税金等調整前四半期純利益	364,344	1,583,673
法人税、住民税及び事業税	267,706	519,721
法人税等調整額	△44,981	△28,326
法人税等合計	222,725	491,394
四半期純利益	141,619	1,092,278
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,476	17,604
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,143	1,074,674

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	141,619	1,092,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,094	266,551
退職給付に係る調整額	47,946	51,589
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,769	△10,599
その他の包括利益合計	14,082	307,540
四半期包括利益	155,702	1,399,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,590	1,381,408
非支配株主に係る四半期包括利益	2,111	18,410

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

介護福祉事業を営む「マイラシーライフサポート(株)」を、当社及び(株)泰進建設が2025年4月1日付で設立したことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	13,331,353	8,085,718	1,457,440	345,163	1,393,818	1,070,852	25,684,346	—	25,684,346
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74,446	508,059	1,066,495	263,467	4,924	696,457	2,613,850	△2,613,850	—
計	13,405,800	8,593,777	2,523,935	608,631	1,398,742	1,767,310	28,298,197	△2,613,850	25,684,346
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△58,974	448,555	135,802	206,517	△322,339	△12,468	397,093	△90,199	306,893

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

金額の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	14,355,210	8,146,911	1,472,691	349,019	1,538,509	1,184,363	27,046,706	—	27,046,706
セグメント間の内部 売上高又は振替高	75,946	712,909	1,280,412	266,658	5,275	1,106,108	3,447,310	△3,447,310	—
計	14,431,157	8,859,820	2,753,104	615,678	1,543,785	2,290,471	30,494,017	△3,447,310	27,046,706
セグメント利益又は セグメント損失(△)	740,715	579,681	130,579	181,939	△381,952	24,742	1,275,706	△140,840	1,134,866

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、以下の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,050,118千円	1,121,368千円